

古墳祭第50回記念 古墳祭にまつわる文化財のはなし② 銀象嵌銘大刀とムリテ

問 社会教育課 文化係
☎0968・34・3047

江田船山古墳からは多くの副葬品が出土しましたが、その中で最も有名なものが「銀象嵌銘大刀」です。幅1cmに満たない刀の峰（刃の反対側）に文字を彫り、そこに銀を埋めて文章を表しています。非常に高度な技術です。書かれているのは75文字。刀を作った経緯や大変めでたい刀であることに加え、この大刀に関係する4人の名前が記されています。

まずは当時のヤマト王権の王であった「ワカタケル大王」。積極的に大陸に働きかけた「倭の五王」のひとつで、「倭王武」とも言われます。次に、墓の主と思われる「无利豆（ムリテ）」。ワカタケル大王の世に、典曹人（文官）として仕えた人物です。次に、刀を作った「伊太和（イタワ）」と文字を書いた「張安（チョウアン）」。「ムリテ」「イタワ」ともに、現在の人名では聞きなれない名前ですが、日本語の音ひとつに漢字1字をあてて表現している固有名詞です。それに対し、「張安」はいかにも大陸風な名前です。刀を作る者として、刀に字を書く者が別であることから、文字を書くことが当たり前前にできるものではなかったということが読み取れます。

墓の主ムリテは、ヤマト王権が勢力を固め、国内外に覇権の正当性を



アピールする5世紀後半において、ヤマトの大王の支配下に組み込まれた王でした。江田船山古墳を含めた前方後円墳が3基あることも、数代にわたってヤマト王権と関係を維持したことを意味しています。

一方、埼玉県行田市の埼玉稲荷山古墳からは115文字が刻まれた金象嵌銘鉄剣が出土し、同じくワカタケル大王に杖刀人（軍人）として仕えたことが記されています。

このことから、5世紀後半の和watami町から埼玉県までの範囲は、ヤマト王権の支配下だったことが分かります。

「銀象嵌銘大刀」には、文字の他に「馬」「花」「魚」「鳥」が描かれています。これらの文様が何を意味しているのかは不明ですが、甲冑を着て、権力で地域を治めるだけでなく、山川の恵みに感謝し、騎馬を管理するなどの最先端の文化を誇る王の姿が思い描かれます。

旬のものを簡単アレンジ 「もちとろきんちゃく」

問 健康福祉課 保健予防係
☎ 0968・86・5724



【材料（4人分量）】

牛乳……………200ml
バター……………50g
生クリーム……………60ml
チーズ……………54g
すしあげ……………8枚
人参……………65g
ほうれん草……………30g
もち……………60g
薄力粉……………30g
コーン……………40g
かんぴょう……………適量
コンソメスープの素……………1個
塩・こしょう……………適量
油……………適量

【作り方】

- ① 人参は小さい角切りに切り、ほうれん草は一口大に切る。
- ② おもちを水でぬらして一口大に切る。
- ③ かんぴょうを水につけておく。
- ④ あげに切り込みを入れて、きんちゃくを作る。
- ⑤ ホワイトソースを作る。バターと薄力粉を火にかける。牛乳を2回に分けて入れ混ぜる。生クリームとコンソメを入れる。
- ⑥ フライパンに油を入れて、人参、ほうれん草、もち、コーンを塩こしょうで軽く炒める。
- ⑦ ホワイトソースに⑥を入れて混ぜる。
- ⑧ スライスチーズを小さく切って入れて混ぜる。
- ⑨ きんちゃくの中に⑧を入れて、かんぴょうで口を結ぶ。
- ⑩ オープンで3～5分焼く。

ひとくちメモ＆栄養コメント

すしあげの中で、たんぱく質・カルシウム・ビタミンとバランスよく摂取できる1品になります。

文芸広場

菊水短歌会

風の夜は竹がひゅうひゅう泣いている
只一管の笛となりつつ 東 左千子
人生も残り少ない秋の日に
何が残るかふり向きながら 池田たかお
新コロナにふり回されし令和二年
風よ変れと念ず新年 坂口志げ子
おめでとう今年も声は聞かれな
ろうそくの灯のかすかに揺れぬ 石山 幸子
雪の夜はがたごとがたごと戸を叩く
何か御用か隙間風さん 阪野 章子
新春の墓前に立ちてふと思う
ちははの齢越えし重さを 荒木 智子
初雪に薄化粧した庭の木々
風にふかれて時おり下り来 坂本 竹子
かなしき原俳句会

松籟の緩びてきたる春隣 貞子
枝垂れ梅明治の墓碑の傘となり 明
旧友と絆深まる春時雨 しん子
野生馬の駆ける岬や野火走る 康子
友来たるからりと揚げし露の臺 弘子
先々を夢見る寒の山仕事 良一
一時をふくら雀の賑はへる 誠一

菊水俳句会

巣ごもりを抜けて散策梅匂ふ 宮中 康雄
寒参り小さき社のバリアフリー 永田 紘彦
和水仙実家は空き家になりけり 池田 松子
地に星の輝く如し犬ふぐり 中山ミサト
早かなア なんなあの子がおっ母さん 池田 茜
早かなア 終活せにゃん年になり 井上りんどう
早かなア 群がって待つ特売日 瀬上 歌子
寒さ寒さ 節約でけん電気料 高木せいや
寒さ寒さ 何枚着たる達磨さん 二瀬 桔梗
つまみ食い 体重計は嘘つかん 福永 ユリ
つまみ食い 火種つくったお大臣 庄山 道草
つまみ食い 落ち着くことは慣れた味 石原かわせみ

和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く。） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

本の新しい借り方を紹介します

4月から、中央公民館図書室・三加和公民館図書室で本を借りる方法が、「バーコード読み取り」方式に変わります。利用方法は、以下の手順のとおりとなります。

- ①図書貸出用パソコンのトップ画面の「貸出・返却の処理」をクリックする。



- ②「貸出・返却の処理」の画面が開いたら、利用者カードのバーコードをバーコードリーダーで読み取る。



- ③借りたい本の裏表紙に貼付されたバーコードをバーコードリーダーで読み取る。



- ④登録完了。

本を借りる際は、「図書室利用者カード」が必要となります。利用者カードの交付を希望する人は、住所を確認できるもの（運転免許証・健康保険証など）を持って、中央公民館、または、三加和公民館へお越しください。